

別添2

厚生科学研究研究費補助金

医療技術評価総合研究事業

看護基礎教育における看護技術教育の基準作成に関する研究

平成13年度 総括研究報告書

主任研究員 田島桂子

平成14（2002）年3月

別添 3

研究報告書目次

I. 総括研究報告

看護基礎教育における看護技術教育の基準作成に関する研究…………… 1

田島桂子

(資料) 1. 看護技術に関する調査結果全容

2. 指導経験年数別看護技術に関する調査結果

厚生科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

総括研究報告書

看護基礎教育における看護技術教育の基準作成に関する研究

主任研究者 田島 桂子 広島県立保健福祉大学 副学長

研究要旨 本研究は、医療・看護環境および学習者の変化などを考慮し、これからの看護専門職の育成過程に必要な看護技術に関する基準を作成するものである。本年度は、医療現場で必要とされている看護技術を明らかにするために、公的基金による研究報告書、および全国の継続教育に関して定評のある病院における看護技術の教育内容を分析して、看護技術項目を抽出した。それらを体系的に再整理して調査表を作成し、現在の臨地実習状況の実態を把握するために調査を実施した。その結果、日常生活行動への援助技術や、生活と治療・看護の実践過程に必要な技術項目についての見解の相違は少ないが、臨地における実施頻度が低い技術についての捉え方は異なっていることが明らかになった。これは、技術教育の規準作成の必要性を明示するものとする。また、調査と平行して、看護技術を中心とした適切な看護実践能力の育成のために、看護技術を支える認知領域の内容を含めた教育単位構築に向けて検討を重ねている。

分担研究者 藤村龍子
東海大学健康科学部
学部長・教授
高橋照子
愛知医科大学看護学部
学部長・教授
井上智子
東京医科歯科大学大学院
教授
田村正枝
長野県看護大学看護学部
教授
村田恵子
神戸大学医学部保健学科
教授
安酸史子
岡山大学医学部保健学科
教授
太田喜久子
慶應義塾大学看護医療学部

教授
加藤千代世
社会保険看護研修センター
教員
筒井真優美
日本赤十字看護大学看護学部
教授
小田正枝
西南女学院大学保健福祉学部
教授

A. 研究目的

今日の医療・看護では、最新の医療機器やコンピュータ処理による検査技術、移植医療や遺伝子治療などの高度の最新医療への対応、人口の高齢化や QOL への対応などが必要である。このことは、医療施設内では高度の最新医療へのかかわりを行い、一

方では医療・看護の場を地域に移行し、在宅看護、地域医療・看護の組織化の推進が求められていることを意味する。したがって、看護職者はこのような医療・看護環境の中で、確実な看護技術を用いた適切な看護の提供と、状況に応じた看護技術に関わる指導的役割を担う能力を身につけておく必要がある。このような社会背景の変化や多様なニーズに応じた看護実践能力を有する看護専門職者の育成には、看護技術教育の体系的な検討が不可欠である。そこで本研究では、これからの時代に即した看護専門職者の育成過程に必要な看護技術とその教育のあり方に関する基準を作成することを目的としている。尚、本年度は、医療関係現場で必要とされている看護技術を明らかにし、その教育実態を把握することを目標にしている。

B. 研究方法

現在の医療・看護の現場で必要とされている看護技術の実態を把握するために、以下の方法で看護技術内容を検討した。1) 平成7年度以降の公的基金(厚生科学研究費、科学研究費、社会福祉・医療事業団助成等)による8つの研究報告書に基づいて、技術項目を抽出する。2) わが国で看護職者の継続教育に関して定評のある病院、および全国にわたる研究協力者が推薦する病院をあわせて9施設の院内教育プログラムから、現場で必要とされている看護技術項目を抽出する。3) 1)、2)項に基づいて、看護職者に求められる技術を体系的に精選するために、研究分担者が中心となって、人間の成長・発達段階、看護に実践の場、看護実践過程、保健師・助産師・看護師に

不可欠な内容などの視点から、看護技術項目を再整理する。4) 3)項で整理された看護技術について、看護職者の認識および指導実態を把握する。調査は設定した看護技術項目ごとに①日常の指導対象としている内容、②基礎教育での指導を望む内容、③臨地における指導の可能性をイ. 無免許での実施の可能性、ロ. 指導下での可能性、ハ. 見学にとどめたほうがよい内容などを問う質問紙を作成し実施する。対象者は、臨床指導の経験をもち、かつ看護教育の基礎を学習した看護教員養成課程(臨床経験5年以上の看護職者対象)の修了直前の研修生とする。

同時に、精選した看護技術項目に基づいて、各看護学領域(基礎、成人、母性、小児、精神、地域・在宅、老人看護学)別に、看護技術を支える認知領域の内容を含めた教育単位の構築、および教育内容・方法の検討を進めている。

(倫理面への配慮)

9施設から教育プログラムの提供を得る際は、文書あるいは口頭にて研究目的を明確に提示し、匿名性とデータの秘匿性を保証した。また、調査においては、研究の趣旨ならびに調査参加者の匿名性と、データの統計処理による個別データの秘匿性を明記した依頼文を送付し、自由参加による郵送法とした。

C. 研究結果および考察

本研究の基礎資料として作成した看護技術内容は、具体的な技術項目を中項目とし、それらを大項目に範疇化し、最終的に6つの枠組みに分類した。6枠組みは①生活過

程に関する援助技術、②生活と治療・看護の過程に必要な技術、③治療過程に関する援助技術、④看護の実践過程に必要な技術、⑤看護システムに関する技術、⑥健康生活維持に関する課題への対応技術とした。

これらによる調査は、対象者 719 名、回収数 339(回収率 47.1%)であった。その結果、「日常の指導対象としている内容」については、「生活過程に関する援助技術」と「生活と治療・看護の過程に必要な技術」の中の基盤となる技術の指導の割合は高くなっているが、臨地での実施頻度が低い技術の指導の割合は低くなっている。また、「基礎教育で指導を望む内容」については、いずれの技術も総体的に割合は高くなっているが、重要な技術であっても臨地における実施頻度に影響されて割合が低くなっている技術項目もある。さらにこれらの結果を「臨床経験年数別」および「臨床経験領域別」でみると、差のある項目はみられないが、「臨床における学生指導経験年数別」でみると、「基礎教育で指導を望む内容」に関わる項目のうち、臨地で実施頻度の少ない技術の指導に関して、経験年数 6 年以上の者の割合が有意 (5%ないし 1%) に低くなっている。

以上の実態は、設定した看護技術項目がおおむね看護基礎教育において必要な内容であると認識されていることを示していると考えられる。一方では、この実態が臨地における確実な看護実践能力育成には、「臨地における指導の可能性」と現在検討過程にある教育単位の構築に基づく教育内容の取り上げ方および教育方法の工夫などとの関係から、看護技術教育内容を具体化する必要があることを示唆しているとも受

け取れる。

また、他方で検討を重ねている各看護学における教育単位の構築とそれぞれに含まれる内容構成から、付加すべき看護技術内容が明らかにされてきている。

D. 結論

初年度の研究段階において、看護実践現場で今日必要とされている看護技術内容の検討と臨地実習指導者らの看護技術教育に対する認識および実態を明らかにした。

これらの結果を考慮して、指定規則に表示されている各看護学を軸とした教育内容を教育方法と評価の方法を含めて具体的に検討することにおいて、看護技術教育の基準を作成していくことが今後の課題である。

(資料) 1. 看護技術に関する調査結果全容

I 生活過程に関する援助技術 (生活行動への援助技術)

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの	
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
生活行動に関する援助技術	身体 の 清潔 ・ 整容 ・ 更衣	1) 望ましい身だしなみ	240	84.8	308	90.9	316	93.2	109	32.2	7	2.1
		2) 歯磨き	220	77.7	302	89.1	274	80.8	145	42.8	9	2.7
		3) 義歯の手入れ	226	79.9	292	86.1	292	86.1	132	38.9	11	3.2
		4) 合歌	239	84.5	312	92.0	261	77.0	151	44.5	9	2.7
		5) 全身清拭	258	91.2	328	96.8	205	60.5	197	58.1	9	2.7
		6) 洗髪	252	89.0	323	95.3	219	64.6	189	55.8	8	2.4
		7) 沐浴	162	57.2	293	86.4	118	34.8	259	76.4	41	12.1
		8) 入浴	237	83.7	300	88.5	181	53.4	232	68.4	20	5.9
		9) 陰部・肛門部洗浄	247	87.3	309	91.2	169	49.9	216	63.7	30	8.8
		10) 衣服の着脱	261	92.2	326	96.2	248	73.2	162	47.8	7	2.1
	排 泄	1) 健康の維持・増進のための援助	240	84.8	313	92.3	167	49.3	193	56.9	24	7.1
		2) 床上排泄援助(便器・尿器使用)	252	89.0	321	94.7	210	61.9	192	56.6	13	3.8
		3) ポータブルトイレ使用による排泄援助	248	87.6	308	90.9	208	61.4	201	59.3	11	3.2
		4) おむつ交換	243	85.9	296	87.3	238	70.2	184	54.3	12	3.5
		5) 排泄異常時の対応										
		① 排便	136	48.1	234	69.0	48	14.2	167	49.3	159	46.9
		② 洗腸	212	74.9	302	89.1	59	17.4	231	68.1	97	28.6
		③ 導尿	182	64.3	287	84.7	29	8.6	180	53.1	155	45.7
		④ 留置カテーテル挿入中の看護	239	84.5	300	88.5	72	21.2	243	71.7	64	18.9
		⑤ 人工肛門の看護	171	60.4	236	69.6	58	17.1	219	64.6	112	33.0
	⑥ 人工膀胱の看護	105	37.1	201	59.3	52	15.3	195	57.5	135	39.8	
	⑦ 尿失禁時の看護	222	78.4	303	89.4	140	41.3	228	67.3	36	10.6	
	食 事 ・ 栄 養	1) 健康の維持・増進のための援助	247	87.3	318	93.8	184	54.3	200	59.0	23	6.8
		2) 食事摂取援助・経口的摂取	256	90.5	324	95.6	229	67.6	189	55.8	17	5.0
		3) 食事摂取困難時の対応										
		① 経管栄養法	213	75.3	291	85.8	56	16.5	229	67.6	105	31.0
	② 麻痺・嚥下困難などの状況下での摂取方法	212	74.9	289	85.3	61	18.0	242	71.4	90	26.5	
	起 居 ・ 体 位 変 換 ・ 移 乗	1) 健康維持・増進のための運動援助	244	86.2	313	92.3	186	54.9	204	60.2	22	6.5
		2) 臥位から座位とその関連行動	256	90.5	324	95.6	205	60.5	218	64.3	9	2.7
		3) ベッドからの離床とその関連行動	254	89.8	323	95.3	175	51.6	240	70.8	12	3.5
4) 必要な体位変換と良肢位保持		259	91.5	326	96.2	170	50.1	234	69.0	13	3.8	
5) 車椅子への移乗・移動		259	91.5	326	96.2	172	50.7	248	73.2	12	3.5	
6) ストレッチャーへの移乗・移動		243	85.9	316	93.2	139	41.0	267	78.8	18	5.3	
7) 歩行介助(器具使用を含む)		246	86.9	307	90.6	158	46.6	233	68.7	25	7.4	
8) 運動・訓練促進の援助		236	83.4	296	87.3	135	39.8	236	69.6	32	9.4	
9) 補装具装着技術		151	53.4	210	61.9	98	28.9	214	63.1	91	26.8	
環 境 調 整	1) 病床の準備	260	91.9	325	95.9	281	82.9	140	41.3	10	2.9	
	2) 病室の整備	262	92.6	325	95.9	295	87.0	127	37.5	10	2.9	
	3) 生活空間の整備	258	91.2	321	94.7	297	87.6	125	36.9	12	3.5	
休 息 ・ 息 取	1) 睡眠のための環境整備	219	77.4	318	93.8	268	79.1	138	40.7	22	6.5	
	2) 入眠のための看護	206	72.8	311	91.7	214	63.1	171	50.4	29	8.6	

I 生活過程に関する援助技術（生活行動への援助技術）

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの	
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
生活行動に関する援助技術	学宗 習教	1) 精神的欲求を満たす方法	185	65.4	285	84.1	169	49.9	166	49.0	57	16.8
		2) 必要に応じた学習継続の援助	179	63.3	267	78.8	164	48.4	178	52.5	54	15.9
		3) 学習環境の調整	173	61.1	273	80.5	181	53.4	173	51.0	50	14.7
	人の誕生・育成過程に関わる援助	1) 周産期保健指導										
		① 受胎調節指導技術	74	26.1	215	63.4	35	10.3	142	41.9	213	62.8
		② 新生児家庭訪問指導	64	22.6	197	58.1	30	8.8	138	40.7	213	62.8
		2) 妊婦計測	119	42.0	281	82.9	77	22.7	262	77.3	53	15.6
		3) 新生児計測	124	43.8	284	83.8	67	19.8	257	75.8	66	19.5
		4) 乳房マッサージ	110	38.9	252	74.3	66	19.5	214	63.1	119	35.1
		5) 悪露交換	119	42.0	269	79.4	80	23.6	239	70.5	70	20.6
		6) 授乳・調乳指導	116	41.0	266	78.5	74	21.8	225	66.4	94	27.7
		7) 離乳食の援助	94	33.2	255	75.2	102	30.1	218	64.3	84	24.8
		8) 愛着形成への援助	120	42.4	280	82.6	121	35.7	200	59.0	84	24.8
		9) 基本的な生活習慣形成への援助	129	45.6	290	85.5	133	39.2	212	62.5	64	18.9
	10) 小児期の遊びの援助	133	47.0	293	86.4	167	49.3	209	61.7	39	11.5	
	11) 親の役割習得への援助	120	42.4	272	80.2	121	35.7	179	52.8	104	30.7	
	にの人の 援助 間通の の程死	1) 死を迎える人への援助	190	67.1	306	90.3	96	28.3	210	61.9	108	31.9
		2) 臨終を迎える人の家族への援助	182	64.3	295	87.0	85	25.1	184	54.3	144	42.5
		3) 死後の遺体への対応	149	52.7	278	82.0	80	23.6	220	64.9	118	34.8
	のるに活日 援助 間通常 のわ難生	1) 苦痛予防の看護	251	88.7	319	94.1	133	39.2	243	71.7	36	10.6
2) 苦痛緩和の看護		257	90.8	320	94.4	128	37.8	243	71.7	39	11.5	
るに備社 援助 お過会 け程復	1) 社会復帰過程における身体・心理面の調整方法	225	79.5	305	90.0	109	32.2	232	68.4	81	23.9	
	2) 社会復帰のために必要な連携	199	70.3	295	87.0	84	24.8	185	54.6	159	46.9	
	3) 社会資源の活用方法	200	70.7	296	87.3	87	25.7	193	56.9	147	43.4	

II 生活と治療・看護の過程に必要な技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの		
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
生活と治療・看護の過程に必要な技術	ヘルスアセスメントに関わる技術	1)健康歴聴取	234	82.7	318	93.8	142	41.9	215	63.4	26	7.7	
		2)フィジカルアセスメント	192	67.8	319	94.1	122	36.0	226	66.7	17	5.0	
		3)発達アセスメント	208	73.5	325	95.9	129	38.1	224	66.1	13	3.8	
		4)全身状態の観察	262	92.6	328	96.8	139	41.0	214	63.1	13	3.8	
		5)異常状態の観察	261	92.2	326	96.2	117	34.5	235	69.3	34	10.0	
		6)測定技術											
		①身体の計測	244	86.2	324	95.6	214	63.1	184	54.3	11	3.2	
		②生体情報の測定											
		・体温測定	258	91.2	328	96.8	234	69.0	163	48.1	7	2.1	
		・呼吸測定	257	90.8	328	96.8	202	59.6	174	51.3	9	2.7	
		・呼吸音聴取	255	90.1	321	94.7	153	45.1	212	62.5	12	3.5	
		・心音聴取	211	74.6	307	90.6	147	43.4	207	61.1	20	5.9	
		・血圧測定	260	91.9	328	96.8	199	58.7	170	50.1	8	2.4	
		・脈拍心拍数の測定	253	89.4	328	96.8	194	57.2	180	53.1	11	3.2	
	・CVP測定	131	46.3	223	65.8	45	13.3	192	56.6	150	44.2		
	・患者監視装置によるモニタリング	186	65.7	248	73.2	64	18.9	199	58.7	133	39.2		
	③血糖値測定	201	71.0	278	82.0	84	24.8	233	68.7	81	23.9		
	④尿比重測定	171	60.4	271	79.9	128	37.8	236	69.6	42	12.4		
	面接技術	1)健康問題対処に関わる面接	141	49.8	244	72.0	74	21.8	173	51.0	152	44.8	
	記録・報告	1)健康歴の記録	223	78.8	318	93.8	125	36.9	221	65.2	57	16.8	
		2)看護計画立案	244	86.2	320	94.4	117	34.5	222	65.5	43	12.7	
		3)経過記録	228	80.6	314	92.6	101	29.8	218	64.3	66	19.5	
		4)電子カルテ使用による記録	40	14.1	161	47.5	54	15.9	146	43.1	180	53.1	
		5)必要な治療に関わる報告	215	76.0	298	87.9	102	30.1	211	62.2	80	23.6	
		6)必要な看護に関わる報告	256	90.5	320	94.4	126	37.2	244	72.0	33	9.7	
		7)クライアント(患者)への必要な報告・説明	231	81.6	303	89.4	94	27.7	228	67.3	85	25.1	
	予防・危険からの防護	1)感染予防											
		①手洗い	255	90.1	327	96.5	220	64.9	180	53.1	7	2.1	
②ガウンテクニック		230	81.3	324	95.6	178	52.5	220	64.9	16	4.7		
③滅菌物の取り扱い		252	89.0	325	95.9	123	36.3	257	75.8	22	6.5		
④隔離		214	75.6	312	92.0	98	28.9	210	61.9	104	30.7		
⑤医療廃棄物の処理		241	85.2	318	93.8	134	39.5	221	65.2	72	21.2		
⑥汚物の取り扱い		258	91.2	322	95.0	166	49.0	225	66.4	35	10.3		
2)安全の保持													
①転倒・転落防止		263	92.9	327	96.5	174	51.3	224	66.1	27	8.0		
②クライアント(患者)の確認行為		241	85.2	322	95.0	150	44.2	227	67.0	43	12.7		
③クライアント(患者)の暴行への対処	136	48.1	273	80.5	84	24.8	155	45.7	177	52.2			
④微生物汚染への対処	193	68.2	306	90.3	87	25.7	186	54.9	137	40.4			

II生活と治療・看護の過程に必要な技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの		
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
生活と治療・看護の過程に必要な技術	防予 護防 ・ 危 険 か ら の	3)問題行動への対応											
		①適切な抑制	174	61.5	269	79.4	65	19.2	201	59.3	131	38.6	
		②問題行動回避への対応	170	60.1	267	78.8	74	21.8	173	51.0	148	43.7	
		4)災害に関わる対応											
		①火災時の対応	128	45.2	269	79.4	127	37.5	147	43.4	169	49.9	
		②地震時の対応	110	38.9	264	77.9	127	37.5	146	43.1	170	50.1	
		③労働災害時の対応	89	31.4	233	68.7	98	28.9	126	37.2	195	57.5	
	④災害後遺症に関わる対応	56	19.8	208	61.4	75	22.1	113	33.3	210	61.9		
	検査・ 検体 採取	1)検体採取											
		①採尿	210	74.2	312	92.0	168	49.6	208	61.4	54	15.9	
		②採便	191	67.5	306	90.3	165	48.7	200	59.0	62	18.3	
		③痰採取	182	64.3	296	87.3	128	37.8	202	59.6	80	23.6	
		④採血	157	55.5	296	87.3	36	10.6	162	47.8	174	51.3	
		⑤培養検体採取	143	50.5	270	79.6	54	15.9	171	50.4	174	51.3	
		2)穿刺											
		①骨髄穿刺時の援助	138	48.8	243	71.7	36	10.6	120	35.4	241	71.1	
		②胸腔穿刺時の援助	142	50.2	242	71.4	36	10.6	120	35.4	242	71.4	
		③腰椎穿刺時の援助	147	51.9	252	74.3	36	10.6	122	36.0	238	70.2	
		④腹腔穿刺時の援助	142	50.2	242	71.4	36	10.6	122	36.0	237	69.9	
		3)生理学的検査:心電図検査	178	62.9	275	81.1	53	15.6	159	46.9	181	53.4	
4)診断過程に必要な特殊検査													
①内視鏡検査時の援助	154	54.4	243	71.7	44	13.0	144	42.5	212	62.5			
②各種X線検査時の援助	180	63.6	271	79.9	63	18.6	169	49.9	164	48.4			
5)検査結果の入手・解釈と対応	183	64.7	249	73.5	56	16.5	162	47.8	170	50.1			
援へ過診 助の程察	1)診察過程への援助	234	82.7	309	91.2	122	36.0	222	65.5	82	24.2		
	2)診察後の患者への対応	230	81.3	310	91.4	116	34.2	222	65.5	88	26.0		
る入退 援助に 関わ	1)入院にあたっての患者・家族への対応	220	77.7	304	89.7	111	32.7	213	62.8	108	31.9		
	2)入院時オリエンテーション	209	73.9	295	87.0	104	30.7	219	64.6	110	32.4		
	3)退院後の生活指導	241	85.2	302	89.1	88	26.0	258	76.1	72	21.2		
	4)在宅での看護・介護指導	172	60.8	289	85.3	76	22.4	205	60.5	136	40.1		
	5)社会資源の活用と調整	180	63.6	292	86.1	76	22.4	165	48.7	192	56.6		

III治療過程に関する援助技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの	
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
			治療処置に関する援助技術	与薬と管理	1) 与薬							
		①経口与薬	241	85.2	322	95.0	107	31.6	223	65.8	68	20.1
		②舌下錠与薬	193	68.2	311	91.7	76	22.4	217	64.0	103	30.4
		③座薬	217	76.7	314	92.6	82	24.2	226	66.7	90	26.5
		④軟膏塗布	232	82.0	315	92.9	144	42.5	211	62.2	56	16.5
		⑤点眼	212	74.9	310	91.4	125	36.9	227	67.0	66	19.5
		⑥点鼻	150	53.0	288	85.0	111	32.7	219	64.6	80	23.6
		⑦点耳	141	49.8	287	84.7	106	31.3	217	64.0	89	26.3
		2) 注射										
		①皮内注射	138	48.8	293	86.4	11	3.2	105	31.0	233	68.7
		②皮下注射	145	51.2	294	86.7	12	3.5	107	31.6	232	68.4
		③筋肉注射	150	53.0	298	87.9	12	3.5	111	32.7	226	66.7
		④静脈内注射	125	44.2	276	81.4	3	0.9	53	15.6	287	84.7
		⑤中心静脈内注射時の管理	182	64.3	282	83.2	24	7.1	130	38.3	213	62.8
		⑥硬膜内注入時の援助	99	35.0	216	63.7	14	4.1	85	25.1	263	77.6
		⑦自己注射の指導	147	51.9	257	75.8	33	9.7	140	41.3	200	59.0
		⑧輸液時の援助・管理	223	78.8	307	90.6	40	11.8	172	50.7	165	48.7
		⑨輸血時の援助・管理	179	63.3	295	87.0	28	8.3	112	33.0	227	67.0
		3) 薬品管理										
		①水薬・座薬	204	72.1	311	91.7	65	19.2	186	54.9	151	44.5
		②麻薬	149	52.7	290	85.5	8	2.4	50	14.7	295	87.0
		③劇薬	142	50.2	285	84.1	8	2.4	58	17.1	289	85.3
		④毒薬	133	47.0	283	83.5	8	2.4	52	15.3	292	86.1
		⑤特殊薬(抗癌剤など)	135	47.7	274	80.8	10	2.9	44	13.0	296	87.3
		1) 呼吸・循環器										
		①気道確保	156	55.1	308	90.9	62	18.3	111	32.7	221	65.2
		②人工呼吸	123	43.5	296	87.3	52	15.3	89	26.3	257	75.8
		③体外式心マッサージ	105	37.1	283	83.5	47	13.9	75	22.1	263	77.6
		④体位排痰法	209	73.9	316	93.2	95	28.0	219	64.6	82	24.2
		⑤吸入療法・ネブライザー	242	85.5	316	93.2	103	30.4	240	70.8	57	16.8
		⑥酸素吸入	244	86.2	317	93.5	88	26.0	239	70.5	70	20.6
		⑦気管内吸引	192	67.8	300	88.5	45	13.3	175	51.6	160	47.2
		⑧気管切開時の看護	155	54.8	256	75.5	41	12.1	157	46.3	186	54.9
		⑨気管カニューレの交換	113	39.9	214	63.1	20	5.9	81	23.9	261	77.0
		⑩レスピレーター装着時の看護	142	50.2	249	73.5	29	8.6	135	39.8	209	61.7
		⑪エアバックによる加圧換気	92	32.5	222	65.5	19	5.6	73	21.5	272	80.2
		⑫心停止を含む危篤時の看護	102	36.0	254	74.9	22	6.5	66	19.5	283	83.5
		⑬ペースメーカー装着時の看護	109	38.5	239	70.5	37	10.9	126	37.2	208	61.4
		⑭除細動器操作	61	21.6	188	55.5	9	2.7	37	10.9	298	87.9
		⑮温・冷罌法	252	89.0	316	93.2	175	51.6	193	56.9	44	13.0
		2) 腎・泌尿器										
		①膀胱洗浄	166	58.7	266	78.5	35	10.3	174	51.3	163	48.1
		②透析シャント管理・指導	104	36.7	222	65.5	27	8.0	126	37.2	220	64.9
		③自己腹膜灌流管理・指導	79	27.9	183	54.0	22	6.5	101	29.8	245	72.3

III治療過程に関する援助技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの		
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
治療 処置 に関する 援助 技術	処置	3)運動器											
		①シーネ固定	163	57.6	286	84.4	65	19.2	202	59.6	132	38.9	
		②牽引	145	51.2	270	79.6	36	10.6	157	46.3	177	52.2	
		③ギプス装着患者の看護	162	57.2	297	87.6	97	28.0	229	67.6	64	18.9	
		4)消化器											
		①胃洗浄	106	37.5	233	68.7	11	3.2	72	21.2	276	81.4	
		②腸洗浄	86	30.4	209	61.7	11	3.2	72	21.2	273	80.5	
		5)皮膚・感覚器											
		①褥創のケア	212	74.9	298	87.9	65	19.2	222	65.5	114	33.6	
		②腐爛皮膚の処置	178	62.9	258	76.1	59	17.4	209	61.7	126	37.2	
		③洗眼	76	26.9	197	58.1	57	16.8	151	44.5	175	51.6	
		④鼻洗	67	23.7	189	55.8	49	14.5	147	43.4	184	54.3	
		周手術期の看護	1)手術前の看護	225	79.5	312	92.0	82	24.2	270	79.6	45	13.3
			2)手術部位のケア	213	75.3	299	88.2	66	19.5	248	73.2	84	24.8
			3)手術直後の看護	213	75.3	301	88.8	64	18.9	246	72.6	87	25.7
	4)術後の挿入チューブ類の管理		203	71.7	293	86.4	46	13.6	205	60.5	140	41.3	
	5)手術創のケア		196	69.3	285	84.1	43	12.7	210	61.9	131	38.6	
	6)手術時の手洗い		152	53.7	291	85.8	90	26.5	226	66.7	78	23.0	
	7)手術室滅菌物の取り扱い		141	49.8	273	80.5	71	20.9	195	57.5	132	38.9	
	治療に伴	1)放射線治療過程の看護	152	53.7	279	82.3	69	20.4	210	61.9	117	34.5	
		2)化学療法過程の看護	174	61.5	282	83.2	67	19.8	208	61.4	119	35.1	
		3)移植手術に関わる看護	56	19.8	208	61.4	38	11.2	115	33.9	211	62.2	
		4)透析療法に関わる看護	125	44.2	260	76.7	51	15.0	176	51.9	157	46.3	
	周産期に伴う看護	1)診断技術											
		①妊娠期の診断技術と対応	98	34.6	258	76.1	39	11.5	148	43.7	183	54.0	
		②分娩期の診断技術と対応	99	35.0	251	74.0	36	10.6	143	42.2	190	56.0	
		③産褥期の診断技術と対応	101	35.7	257	75.8	40	11.8	154	45.4	172	50.7	
④新生児の診断と観察法		105	37.1	265	78.2	41	12.1	166	49.0	163	48.1		
⑤乳房の診断と対応技術		102	36.0	252	74.3	38	11.2	161	47.5	172	50.7		
2)分娩介助技術													
①正常分娩過程の介助		107	37.8	262	77.3	41	12.1	146	43.1	182	53.7		
②出生直後の新生児の看護		113	39.9	277	81.7	37	10.9	151	44.5	180	53.1		
3)異常分娩時の補助													
①異常出血への救急処置		82	29.0	230	67.8	13	3.8	52	15.3	283	83.5		
②胎児・胎盤娩出時および後の処置		92	32.5	236	69.6	17	5.0	74	21.8	256	75.5		
4)保健指導													
①妊娠中毒予防のための保健指導		109	38.5	267	78.8	57	16.8	168	49.6	162	47.8		
5)記録・報告													
①助産記録		79	27.9	192	56.6	28	8.3	91	26.8	245	72.3		
②分娩監視装置解説		79	27.9	184	54.3	26	7.7	98	28.9	240	70.8		

IV看護の実践過程に必要な技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの	
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
看護の実践過程に必要な技術	技術 展開看護	1)問題解決思考に基づく看護行為の展開	248	87.6	320	94.4	130	38.3	234	69.0	14	4.1
		2)問題解決思考に基づくケース看護の展開	240	84.8	315	92.9	128	37.8	239	70.5	15	4.4
	シコ ヨミ ンユ ニ テ ケ ー ト	1)クライアント(患者)との対人関係	258	91.2	323	95.3	188	55.5	206	60.8	11	3.2
		2)家族・外来者との対人関係	250	88.3	317	93.5	179	52.8	212	62.5	23	6.8
		3)必要に応じた関係者間での協調	231	81.6	307	90.6	147	43.4	216	63.7	47	13.9
		4)文化・言語の違いを越えた対人関係	143	50.5	285	84.1	169	49.9	198	58.4	54	15.9
		5)コミュニケーション困難な人々への対応	230	81.3	307	90.6	148	43.7	222	65.5	35	10.3
	ボディメカニ クス	1)よい姿勢の保持方法	252	89.0	325	95.9	198	58.4	195	57.5	7	2.1
		2)看護実践時のボディメカニクス原理の活用	246	86.9	325	95.9	186	54.9	198	58.4	9	2.7
	教育 技術	1)指導内容に応じた教育技法	195	68.9	297	87.6	106	31.3	242	71.4	51	15.0
		2)対象に応じた教育技法	202	71.4	295	87.0	108	31.9	236	69.6	52	15.3
		3)教材作成の方法	172	60.8	273	80.5	109	32.2	227	67.0	51	15.0
		4)既存教材の活用方法	175	61.8	281	82.9	109	32.2	224	66.1	54	15.9

V看護ケアシステムに関する技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの	
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%
看護ケアシステムに関する技術	物品管理	1)滅菌物品の管理	202	71.4	293	86.4	81	23.9	170	50.1	151	44.5
		2)常備薬品の管理	170	60.1	274	80.8	66	19.5	151	44.5	175	51.6
		3)医療機器の管理	187	66.1	270	79.6	67	19.8	150	44.2	176	51.9
		4)看護用品・リネン類の管理	218	77.0	281	82.9	120	35.4	167	49.3	132	38.9
	理看護管	1)医療・病棟等施設の管理	146	51.6	256	75.5	45	13.3	101	29.8	233	68.7
		2)診察・看護記録類の管理	174	61.5	276	81.4	39	11.5	105	31.0	230	67.8
		3)看護ケアシステムの組織化と活動	146	51.6	270	79.6	42	12.4	99	29.2	233	68.7
	画の療ムテ 参へ医!	1)チーム医療における看護職の活動	206	72.8	313	92.3	82	24.2	180	53.1	134	39.5
		2)チーム医療における個人の役割	192	67.8	307	90.6	84	24.8	178	52.5	135	39.8
	ス連福医保 携社療健 シの・・	1)関係機関との連携の中での看護職の活動	180	63.6	307	90.6	64	18.9	135	39.8	192	56.6
		2)専門職者間での連携システムの組織化と活動	164	58.0	300	88.5	61	18.0	123	36.3	206	60.8
		3)非専門職者との連携システムの組織化と活動	136	48.1	286	84.4	66	19.5	115	33.9	211	62.2
参へ技通情 画の術信報	1)利用電子機器への対応	81	28.6	228	67.3	77	22.7	117	34.5	211	62.2	
	2)開発された関係情報の活用	69	24.4	221	65.2	71	20.9	113	33.3	214	63.1	

VI健康生活維持に関する課題への対応技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの		
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
健康生活維持に関する課題への対応技術	身体的課題への対処	1)呼吸・循環の障害による症状への対処											
		①呼吸困難	222	78.4	311	91.7	64	18.9	199	58.7	124	36.6	
		②動悸	204	72.1	308	90.9	61	18.0	202	59.6	123	36.3	
		③血圧異常	228	80.6	315	92.9	55	16.2	199	58.7	127	37.5	
		④ショック	187	66.1	304	89.7	36	10.6	127	37.5	215	63.4	
		⑤末梢循環不全	199	70.3	307	90.6	52	15.3	190	56.0	149	44.0	
		2)栄養代謝の障害による症状への対処											
		①嚥下困難	220	77.7	312	92.0	72	21.2	243	71.7	76	22.4	
		②下痢	242	85.5	325	95.9	120	35.4	262	77.3	29	8.6	
		③便秘	251	88.7	325	95.9	129	38.1	265	78.2	24	7.1	
		④腹部膨満	247	87.3	321	94.7	118	34.8	256	75.5	31	9.1	
		⑤嘔気・嘔吐	253	89.4	323	95.3	110	32.4	260	76.7	39	11.5	
		⑥血糖異常	221	78.1	310	91.4	65	19.2	216	63.7	109	32.2	
		⑦肥満	163	57.6	243	71.7	98	28.9	192	56.6	31	9.1	
		3)防衛機能の障害による症状への対処											
		①易感染	240	84.8	317	93.5	88	26.0	247	72.9	59	17.4	
		②発熱	254	89.8	325	95.9	126	37.2	258	76.1	21	6.2	
		③痒み	246	86.9	320	94.4	138	40.7	249	73.5	22	6.5	
		4)内部環境調節機能障害による症状への対処											
		①尿量・尿質の異常	239	84.5	314	92.6	70	20.6	236	69.6	77	22.7	
		②浮腫(腹水)	241	85.2	315	92.9	71	20.9	237	69.9	72	21.2	
		③脱水	240	84.8	316	93.2	69	20.4	237	69.9	69	20.4	
		④電解質のアンバランス	220	77.7	306	90.3	59	17.4	215	63.4	105	31.0	
		5)感覚・認知機能の障害による症状への対処											
		①疼痛	250	88.3	323	95.3	100	29.5	258	76.1	38	11.2	
		②知覚障害	223	78.8	314	92.6	95	28.0	245	72.3	52	15.3	
		③視力障害	218	77.0	315	92.9	105	31.0	251	74.0	41	12.1	
		④聴力障害	215	76.0	313	92.3	107	31.6	251	74.0	42	12.4	
		⑤意識障害	216	76.3	310	91.4	71	20.9	215	63.4	102	30.1	
		⑥失行・失認	188	66.4	297	87.6	82	24.2	215	63.4	89	26.3	
		⑦知能の障害	176	62.2	295	87.0	90	26.5	206	60.8	91	26.8	
		⑧頭蓋内圧亢進	163	57.6	289	85.3	38	11.2	169	49.9	174	51.3	
6)運動機能障害による症状への対処													
①運動麻痺	232	82.0	314	92.6	100	29.5	255	75.2	40	11.8			
②四肢の切断	139	49.1	278	82.0	82	24.2	211	62.2	89	26.3			
③振戦	199	70.3	300	88.5	94	27.7	240	70.8	60	17.7			
④拘縮	230	81.3	314	92.6	101	29.8	254	74.9	44	13.0			
7)言語障害による症状への対処													
①構音障害	187	66.1	301	88.8	102	30.1	235	69.3	51	15.0			
②失語症	181	64.0	297	87.6	99	29.2	230	67.8	58	17.1			
8)性・生殖機能障害による症状への対処	112	39.6	265	78.2	60	17.7	164	48.4	163	48.1			

VI健康生活維持に関する課題への対応技術

枠組み	大項目	中項目	日頃、指導しているもの		基礎教育での指導を望むもの		無免許でも実施可能と思うもの		指導下のみで実施可能と思うもの		見学に留めた方がよいと思うもの		
			実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
健康生活維持に関する課題への対応技術	身体的課題への対処	9)精神症状や状態への対処											
		①幻覚妄想	125	44.2	294	86.7	64	18.9	203	59.9	119	35.1	
		②抑うつ状態	142	50.2	299	88.2	66	19.5	214	63.1	109	32.2	
		③そう状態	123	43.5	297	87.6	64	18.9	205	60.5	114	33.6	
		④衝動行為	101	35.7	274	80.8	53	15.6	176	51.9	141	41.6	
		⑤混乱状態	106	37.5	272	80.2	56	16.5	174	51.3	141	41.6	
		⑥痴呆	189	66.8	304	89.7	93	27.4	228	67.3	76	22.4	
		⑦せん妄	159	56.2	296	87.3	68	20.1	213	62.8	96	28.3	
		⑧不安状態	162	57.2	296	87.3	67	19.8	209	61.7	110	32.4	
		⑨ひきこもり状態	94	33.2	270	79.6	63	18.6	188	55.5	132	38.9	
		⑩拒否(拒食、拒薬)	130	45.9	282	83.2	64	18.9	193	56.9	131	38.6	
		⑪攻撃的行為	103	36.4	265	78.2	45	13.3	122	36.0	213	62.8	
		⑫強迫行為	93	32.9	265	78.2	49	14.5	141	41.6	187	55.2	
	⑬操作・試し行為	85	30.0	262	77.3	49	14.5	146	43.1	178	52.5		
	⑭自傷・自殺念慮	100	35.3	266	78.5	42	12.4	111	32.7	221	65.2		
	のト通日	1)生活環境の変化への対処	231	81.6	313	92.3	115	33.9	224	66.1	63	18.6	
	対レの生		2)役割の変化への対処	208	73.5	309	91.2	102	30.1	216	63.7	84	24.8
	スヘス活		3)家族機能の変化への対処	208	73.5	308	90.9	98	28.9	210	61.9	93	27.4
	の危	1)身体像の変化への対処	218	77.0	306	90.3	89	26.3	205	60.5	98	28.9	
	対機		2)病名の告知への対処	178	62.9	296	87.3	52	15.3	134	39.5	200	59.0
	処状		3)死・別離への対処	161	56.9	292	86.1	63	18.6	152	44.8	177	52.2
	況へ		4)暴力・虐待への対処	79	27.9	264	77.9	51	15.0	107	31.6	235	69.3
	への		5)事故・災害への対処	108	38.2	271	79.9	53	15.6	126	37.2	220	64.9
	護	1)自己決定のプロセスへの援助	193	68.2	306	90.3	84	24.8	204	60.2	120	35.4	
	利		2)プライバシーの保護	240	84.8	320	94.4	129	38.1	208	61.4	79	23.3
	擁		3)情報開示	151	53.4	296	87.3	44	13.0	138	40.7	203	59.9
	す健地	1)地区診断	36	12.7	205	60.5	36	10.6	106	31.3	240	70.8	
る康域	2)地域における保健計画立案・評価		37	13.1	215	63.4	37	10.9	103	30.4	242	71.4	
に問に	3)学童の健康管理		44	15.5	216	63.7	45	13.3	115	33.9	228	67.3	
け	4)労働環境のアセスメント		38	13.4	204	60.2	45	13.3	112	33.0	234	69.0	
関	5)グループ・ヘルプグループの育成と支援		40	14.1	214	63.1	43	12.7	104	30.7	238	70.2	

(資料) 2. 指導経験年数別看護技術に関する調査結果

I 生活過程に関する援助技術 (生活行動への援助技術)

1~5年 n=156
6年以上 n=86

*は有意水準5%で有意
**は有意水準1%で有意

枠組み	大項目	中項目	A				B					
			日頃、指導しているもの				基礎教育での指導を望むもの					
			1~5年		6年以上		母比率の 差の検定	1~5年		6年以上		母比率の 差の検定
			実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
生活行動に関する援助技術	身体 の 清潔 ・ 整容 ・ 更衣	1) 望ましい身だしなみ	137	87.8	75	87.2		146	93.6	82	95.3	
		2) 歯磨き	124	79.5	70	81.4		143	91.7	80	93.0	
		3) 義歯の手入れ	126	80.8	71	82.6		139	89.1	77	89.5	
		4) 含嗽	133	85.3	77	89.5		146	93.6	84	97.7	
		5) 全身清拭	147	94.2	80	93.0		154	98.7	86	100.0	
		6) 洗髪	143	91.7	81	94.2		153	98.1	82	95.3	
		7) 沐浴	91	58.3	52	60.5		140	89.7	76	88.4	
		8) 入浴	135	86.5	76	88.4		146	93.6	74	86.0	
		9) 陰部・肛門部洗浄	140	89.7	77	89.5		145	92.9	82	95.3	
		10) 衣服の着脱	148	94.9	81	94.2		154	98.7	84	97.7	
	排 泄	1) 健康の維持・増進のための援助	139	89.1	73	84.9		145	92.9	82	95.3	
		2) 床上排泄援助(便器・尿器使用)	139	89.1	82	95.3		150	96.2	85	98.8	
		3) ポータブルトイレ使用による排泄援助	139	89.1	79	91.9		146	93.6	81	94.2	
		4) おむつ交換	139	89.1	75	87.2		143	91.7	74	86.0	
		5) 排泄異常時の対応										
		① 排便	74	47.4	43	50.0		112	71.8	58	67.4	
		② 洗腸	119	76.3	68	79.1		141	90.4	77	89.5	
		③ 溺尿	100	64.1	59	68.6		130	83.3	74	86.0	
		④ 留置カテーテル挿入中の看護	134	85.9	76	88.4		146	93.6	76	88.4	
		⑤ 人工肛門の看護	95	60.9	52	60.5		114	73.1	57	66.3	
		⑥ 人工膀胱の看護	58	37.2	34	39.5		97	62.2	48	55.8	
		⑦ 尿失禁時の看護	126	80.8	69	80.2		147	94.2	78	90.7	
	食 事 ・ 栄 養	1) 健康の維持・増進のための援助	141	90.4	76	88.4		149	95.5	83	96.5	
		2) 食事摂取援助・経口的摂取	144	92.3	80	93.0		152	97.4	85	98.8	
		3) 食事摂取困難時の対応										
		① 経管栄養法	121	77.6	68	79.1		141	90.4	73	84.9	
	② 麻痺・嚥下困難などの状況下での摂取方法	122	78.2	65	75.6		140	89.7	73	84.9		
	・ 起 居 ・ 体 位 変 換 ・ 移 乗	1) 健康維持・増進のための運動援助	135	86.5	78	90.7		147	94.2	81	94.2	
		2) 臥位から座位とその関連行動	143	91.7	82	95.3		152	97.4	85	98.8	
		3) ベッドからの離床とその関連行動	141	90.4	82	95.3		152	97.4	85	98.8	
		4) 必要な体位変換と四肢位保持	146	93.6	82	95.3		153	98.1	86	100.0	
		5) 車椅子への移乗・移動	145	92.9	82	95.3		152	97.4	86	100.0	
		6) ストレッチャーへの移乗・移動	136	87.2	78	90.7		148	94.9	83	96.5	
		7) 歩行介助(器具使用を含む)	139	89.1	77	89.5		146	93.6	81	94.2	
		8) 運動・訓練促進の援助	134	85.9	74	86.0		145	92.9	75	87.2	
		9) 補装具装着技術	85	54.5	48	55.8		108	69.2	49	57.0	
	環 境 調 整	1) 病床の準備	146	93.6	82	95.3		152	97.4	86	100.0	
		2) 病室の整備	149	95.5	81	94.2		152	97.4	86	100.0	
		3) 生活空間の整備	147	94.2	78	90.7		151	96.8	84	97.7	
	休 息 ・ 睡 眠	1) 睡眠のための環境整備	121	77.6	71	82.6		149	95.5	85	98.8	
		2) 入眠のための看護	115	73.7	64	74.4		147	94.2	83	96.5	

I 生活過程に関する援助技術（生活行動への援助技術）

1～5年 n=156
6年以上 n=86

*は有意水準5%で有意
**は有意水準1%で有意

枠組み	大項目	中項目	A			B					
			日頃、指導しているもの			基礎教育での指導を望むもの					
			○			○					
			1～5年 実数	6年以上 実数	母比率の 差の検定	1～5年 実数	6年以上 実数	母比率の 差の検定			
生活行動に関する援助技術	学業 習教	1)精神的欲求を満たす方法	108	69.2	59	68.6	142	91.0	76	88.4	
		2)必要に応じた学習継続の援助	106	67.9	53	61.6	133	85.3	66	76.7	
		3)学習環境の調整	103	66.0	54	62.8	134	85.9	70	81.4	
	人の誕生・育成過程に関わる援助	1)周産期保健指導									
		①受胎調節指導技術	49	31.4	18	20.9	109	69.9	51	59.3	
		②新生児家庭訪問指導	44	28.2	15	17.4	99	63.5	49	57.0	
		2)妊婦計測	72	46.2	32	37.2	143	91.7	69	80.2	**
		3)新生児計測	73	46.8	36	41.9	144	92.3	70	81.4	*
		4)乳房マッサージ	63	40.4	33	38.4	125	80.1	63	73.3	
		5)悪露交換	71	45.5	33	38.4	138	88.5	66	76.7	*
		6)授乳・調乳指導	67	42.9	35	40.7	133	85.3	67	77.9	
		7)離乳食の援助	54	34.6	28	32.6	129	82.7	64	74.4	
		8)愛着形成への援助	72	46.2	32	37.2	141	90.4	69	80.2	*
		9)基本的な生活習慣形成への援助	78	50.0	36	41.9	143	91.7	71	82.6	*
	10)小児期の遊びの援助	82	52.6	38	44.2	146	93.6	72	83.7	*	
	11)親の役割習得への援助	74	47.4	32	37.2	138	88.5	69	80.2		
	るにの人援助 関過のわ程死	1)死を迎える人への援助	108	69.2	60	69.8	151	96.8	79	91.9	
		2)臨終を迎える人の家族への援助	104	66.7	58	67.4	145	92.9	76	88.4	
		3)死後の遺体への対応	84	53.8	46	53.5	134	85.9	71	82.6	
	日常生活過程に関わる苦痛の緩和	1)苦痛予防の看護	140	89.7	81	94.2	152	97.4	83	96.5	
2)苦痛緩和の看護		145	92.9	81	94.2	153	98.1	84	97.7		
るに鼎社援助 お過会 け程復	1)社会復帰過程における身体・心理面の調整方法	128	82.1	69	80.2	150	96.2	79	91.9		
	2)社会復帰のために必要な連携	111	71.2	64	74.4	145	92.9	78	90.7		
	3)社会資源の活用方法	112	71.8	62	72.1	148	94.9	77	89.5		

枠組み	大項目	中項目	A					B				
			日頃、指導しているもの					基礎教育での指導を望むもの				
			1～5年		6年以上		母比率の 差の検定	1～5年		6年以上		母比率の 差の検定
			実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
生活と治療・看護の過程に必要な技術	ヘルスアセスメントに関わる技術	1)健康歴聴取	133	85.3	74	86.0		152	97.4	81	94.2	
		2)フィジカルアセスメント	111	71.2	58	67.4		153	98.1	81	94.2	
		3)発達アセスメント	119	76.3	65	75.6		154	98.7	85	98.8	
		4)全身状態の観察	147	94.2	83	96.5		155	99.4	85	98.8	
		5)異常状態の観察	145	92.9	83	96.5		155	99.4	84	97.7	
		6)測定技術										
		①身体計測	138	88.5	79	91.9		153	93.1	85	98.8	
		②生体情報の測定										
		・体温測定	149	95.5	80	93.0		155	99.4	85	98.8	
		・呼吸測定	148	94.9	80	93.0		155	99.4	85	98.8	
		・呼吸音聴取	147	94.2	80	93.0		153	98.1	82	95.3	
		・心音聴取	123	78.8	66	76.7		146	93.6	78	90.7	
		・血圧測定	150	96.2	81	94.2		155	99.4	85	98.8	
		・脈拍心拍数の測定	145	92.9	80	93.0		156	100.0	85	98.8	
		・CVP測定	83	53.2	35	40.7		116	74.4	51	59.3	*
	・患者監視装置によるモニタリング	106	67.9	57	66.3		122	78.2	64	74.4		
	③血糖値測定	121	77.6	57	66.3		138	88.5	69	80.2		
	④尿比重測定	99	63.5	54	62.8		133	85.3	70	81.4		
	面接技術	1)健康問題対処に関わる面接	79	50.6	45	52.3		118	75.6	63	73.3	
	記録・報告	1)健康歴の記録	130	83.3	67	77.9		154	98.7	83	96.5	
		2)看護計画立案	141	90.4	73	84.9		154	98.7	81	94.2	*
		3)経過記録	133	85.3	69	80.2		148	94.9	80	93.0	
		4)電子カルテ使用による記録	24	15.4	13	15.1		82	52.6	44	51.2	
		5)必要な治療に関わる報告	122	78.2	68	79.1		147	94.2	73	84.9	*
		6)必要な看護に関わる報告	145	92.9	80	93.0		155	99.4	81	94.2	*
		7)クライアント(患者)への必要な報告・説明	132	84.6	69	80.2		150	96.2	74	86.0	**
	予防・危険からの防護	1)感染予防										
		①手洗い	144	92.3	81	94.2		154	98.7	85	98.8	
		②ガウンテクニック	129	82.7	73	84.9		153	98.1	83	96.5	
		③滅菌物の取り扱い	143	91.7	79	91.9		153	98.1	85	98.8	
④隔離		118	75.6	71	82.6		147	94.2	83	96.5		
⑤医療廃棄物の処理		140	89.7	75	87.2		150	96.2	84	97.7		
⑥汚物の取り扱い		149	95.5	81	94.2		152	97.4	86	100.0		
2)安全の保持												
①転倒・転落防止		147	94.2	83	96.5		154	98.7	86	100.0		
②クライアント(患者)の確認行為		138	88.5	74	86.0		153	98.1	85	98.8		
③クライアント(患者)の暴行への対処		81	51.9	41	47.7		130	83.3	73	84.9		
④微生物汚染への対処		112	71.8	57	66.3		147	94.2	81	94.2		

枠組み	大項目	中項目	A					B							
			日頃、指導しているもの					基礎教育での指導を望むもの							
			1～5年		6年以上		母比率の 差の検定	1～5年		6年以上		母比率の 差の検定			
			実数	%	実数	%		実数	%	実数	%				
生活と治療・看護の過程に必要な技術	防予 護防 ・ 危 険 か ら の	3)問題行動への対応													
		①適切な抑制	96	61.5	59	68.6		124	79.5	71	82.6				
		②問題行動回避への対応	100	64.1	50	58.1		129	82.7	65	75.6				
		4)災害に関わる対応													
		①火災時の対応	78	50.0	43	50.0		133	85.3	70	81.4				
		②地震時の対応	67	42.9	37	43.0		133	85.3	68	79.1				
		③労働災害時の対応	52	33.3	32	37.2		119	76.3	59	68.6				
		④災害後遺症に関わる対応	35	22.4	18	20.9		107	68.6	58	67.4				
		検査・ 検 体 採 取	1)検体採取												
			①採尿	122	78.2	65	75.6		151	96.8	82	95.3			
	②採便		111	71.2	59	68.6		148	94.9	80	93.0				
	③痰採取		105	67.3	55	64.0		144	92.3	76	88.4				
	④採血		90	57.7	54	62.8		142	91.0	75	87.2				
	⑤培養検体採取		80	51.3	47	54.7		135	86.5	65	75.6		*		
	2)穿刺														
	①骨髄穿刺時の援助		74	47.4	48	55.8		115	73.7	61	70.9				
	②胸腔穿刺時の援助		75	48.1	50	58.1		114	73.1	62	72.1				
	③腰椎穿刺時の援助		77	49.4	52	60.5		119	76.3	65	75.6				
	④腹腔穿刺時の援助		77	49.4	49	57.0		116	74.4	59	68.6				
	3)生理学的検査:心電図検査		99	63.5	58	67.4		132	84.6	71	82.6				
	4)診断過程に必要な特殊検査														
	①内視鏡検査時の援助		90	57.7	49	57.0		121	77.6	59	68.6				
	②各種X線検査時の援助		100	64.1	61	70.9		131	84.0	70	81.4				
	5)検査結果の入手・解説と対応		102	65.4	64	74.4		125	80.1	65	75.6				
	診察過程への援助	1)診察過程への援助	132	84.6	72	83.7		147	94.2	79	91.9				
		2)診察後の患者への対応	132	84.6	69	80.2		149	95.5	78	90.7				
わ 入 る 退 院 に 関	1)入院にあたっての患者・家族への対応	125	80.1	68	79.1		145	92.9	78	90.7					
	2)入院時オリエンテーション	118	75.6	65	75.6		141	90.4	75	87.2					
	3)退院後の生活指導	139	89.1	77	89.5		145	92.9	78	90.7					
	4)在宅での看護・介護指導	105	67.3	46	53.5	*	143	91.7	73	84.9					
	5)社会資源の活用と調整	106	67.9	52	60.5		145	92.9	73	84.9		*			

田治療過程に関する援助技術

1～5年 n=156
6年以上 n=86

*は有意水準5%で有意
**は有意水準1%で有意

枠組み	大項目	中項目	A					B				
			日頃、指導しているもの					基礎教育での指導を望むもの				
			1～5年		6年以上		母比率の 差の検定	1～5年		6年以上		母比率の 差の検定
			実数	%	実数	%		実数	%	実数	%	
治療 処置 に関する 援助 技術	与薬と管理	1) 与薬										
		① 経口与薬	136	87.2	76	88.4		152	97.4	83	96.5	
		② 舌下錠与薬	116	74.4	55	64.0		150	96.2	77	89.5	*
		③ 座薬	127	81.4	66	76.7		150	96.2	78	90.7	
		④ 軟膏塗布	134	85.9	73	84.9		150	96.2	81	94.2	
		⑤ 点眼	124	79.5	66	76.7		151	96.8	78	90.7	*
		⑥ 点鼻	89	57.1	45	52.3		140	89.7	72	83.7	
		⑦ 点耳	84	53.8	42	48.8		140	89.7	72	83.7	
		2) 注射										
		① 皮内注射	77	49.4	44	51.2		134	85.9	75	87.2	
		② 皮下注射	79	50.6	48	55.8		135	86.5	76	88.4	
		③ 筋肉注射	82	52.6	50	58.1		138	88.5	76	88.4	
		④ 静脈内注射	67	42.9	42	48.8		127	81.4	70	81.4	
		⑤ 中心静脈内注射時の管理	107	68.6	55	64.0		135	86.5	73	84.9	
		⑥ 腹腔内注入時の援助	62	39.7	27	31.4		110	70.5	49	57.0	*
		⑦ 自己注射の指導	90	57.7	42	48.8		126	80.8	62	72.1	
		⑧ 輸液時の援助・管理	128	82.1	70	81.4		146	93.6	77	89.5	
		⑨ 輸血時の援助・管理	108	69.2	49	57.0		141	90.4	71	82.6	
		3) 薬品管理										
		① 水薬・座薬	116	74.4	65	75.6		151	96.8	78	90.7	*
		② 麻薬	87	55.8	44	51.2		138	88.5	72	83.7	
		③ 劇薬	83	53.2	42	48.8		136	87.2	72	83.7	
		④ 毒薬	80	51.3	38	44.2		135	86.5	71	82.6	
		⑤ 特殊薬(抗癌剤など)	77	49.4	40	46.5		134	85.9	67	77.9	
		1) 呼吸・循環器										
		① 気道確保	87	55.8	49	57.0		145	92.9	82	95.3	
		② 人工呼吸	76	48.7	33	38.4		142	91.0	76	88.4	
	③ 体外式心マッサージ	61	39.1	31	36.0		133	85.3	75	87.2		
	④ 体位排痰法	121	77.6	63	73.3		150	96.2	82	95.3		
	⑤ 吸入療法・ネブライザー	139	89.1	75	87.2		151	96.8	81	94.2		
	⑥ 酸素吸入	138	88.5	77	89.5		150	96.2	83	96.5		
	⑦ 気管内吸引	114	73.1	56	65.1		141	90.4	78	90.7		
	⑧ 気管切開時の看護	94	60.3	44	51.2		124	79.5	63	73.3		
	⑨ 気管カニューレの交換	68	43.6	36	41.9		106	67.9	46	53.5	*	
	⑩ レスピレーター装着時の看護	82	52.6	44	51.2		123	78.8	59	68.6		
	⑪ エアバックによる加圧換気	58	37.2	26	30.2		114	73.1	48	55.8	**	
	⑫ 心停止を含む危篤時の看護	64	41.0	30	34.9		121	77.6	62	72.1		
	⑬ ベースメーカー装着時の看護	61	39.1	35	40.7		116	74.4	57	66.3		
	⑭ 除細動器操作	37	23.7	19	22.1		100	64.1	40	46.5	**	
	⑮ 温・冷電法	144	92.3	78	90.7		151	96.8	81	94.2		
	2) 腎・泌尿器											
	① 膀胱洗浄	99	63.5	47	54.7		126	80.8	65	75.6		
	② 透析シャント管理・指導	66	42.3	28	32.6		113	72.4	48	55.8	**	
	③ 自己腹膜灌流管理・指導	51	32.7	23	26.7		95	60.9	41	47.7	*	